学校だより

令和元年　6月28日

７　月　号

めざす子ども像

ともに学び、よりよい生き方を見つけ出すしろさとっ子

横浜市立城郷小学校

置かれた場所で咲きなさい

副校長　神田　智昌

今回の４年生宿泊体験学習中の事件報道に際し、学校への電話による問い合わせを控えていただき、４年生の保護者の皆様には改めて感謝を申し上げます。他の学年の保護者の皆様にもご心配をおかけしましたが、静かなご協力に心から感謝申し上げます。おかげさまで、学校と現地が密に連絡を取りながら、安全を優先させてプログラムを進行させることに専念でき、無事に帰校し、帰宅してもらうことができました。ありがとうございました。

４年生の児童は、事前の準備をしっかりとして、あとはそれを行い、楽しもうというときにプログラムが変更され、屋外の活動が中止となりました。各クラスが泊まるロッジの中で、キャンプファイヤーに代わりクラスでレクリエーションをやったり、部屋で班の人と楽しく過ごしたりしました。

自分ではどうすることもできない状況の中でもそれを受け入れ、その中でできる活動で、仲間と楽しむけなげな姿を目にしたときに、私はノートルダム清心学園元理事長の渡辺和子さんの言葉を思い出しました。

【置かれた場所で咲きなさい】

生きている間には「こんなはずじゃなかった」と言いたくなるようなこと、
想定外のこと、期待外れのことがたくさんあります。
そのような状態・立場に置かれた時でも明るく前向きに生きていく。
つまりそれが、置かれたところで自分しか咲かせることができない花を
一生懸命に咲かせることになるのだと思います。

中略

一人一人が神様が植えられたところで精一杯に咲きなさい
咲くということは笑顔で生きるということです。

ーノートルダム清心学園理事長　渡辺和子ー

今回の４年生の「その状況を受け入れ、最善を尽くす」という心情は城郷小学校全学年に共通した校風だと感じます。それは保護者の皆様が育てたものであり、伝統ある落ち着いた城郷の地域で培われたものでもあると思います。どうぞこれからも城郷小学校にご理解とご協力をお願いいたします。

城郷小学校ホームページアドレス： http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shirosato/